



ふたつあった!? 大阪港駅

大阪港駅といえば、市営地下鉄中央線の駅ですが、昭和59(1984)年まで、もうひとつ「大阪港駅」がありました。地下鉄大阪港駅ができたのは昭和36(1961)年ですが、それより30年以上前からあったその駅は「おおさかみなとえき」といいます。地下鉄の大阪港駅



築港付近の臨港鉄道線(昭和30年頃)

とは読み方が異なり、別の場所にあったこの駅、実は貨物専用の駅でした。



開業当時の大阪港(おおさかみなと)駅
(交通科学博物館提供)

おおさかみなと「大阪港駅」は、昭和3(1928)年、国鉄(現JR)今宮駅(浪速区)から築港に至る臨港鉄道(貨物線)の終点として、現在の港区海岸通2丁目、旧港湾局庁舎(現pia NPO)の南東付近に設けられました。海岸通沿いの倉庫群が建ち並ぶなか、その倉庫の間を縫う形で線路が敷かれていました。

折しも、昭和4(1929)年には大阪港の築港工事が完成し、おおさかみなと「大阪港駅」の貨物取扱量は順調に増加していきました。特に、船から陸揚げされる外国貿易貨物が大量に取り扱われ、行き交う貨物列車や荷役に携わる港湾労働者で活気にあふれていました。戦災により壊滅的打撃を受けましたが、戦後は再び取扱量が増加し、昭和20年代半ばにピークを迎えます。

しかし、高度成長期に入るとトラック輸送への転換が急速に進んで取扱量が激減したため、おおさかみなと「大阪港駅」は昭和59(1984)年に廃止されました。なお、貨物線自体は引込線として残りましたが、これも昭和61(1986)年限りで廃止となりました。



蒸気機関車が活躍(昭和30年頃・港湾局提供)